



が今日の社会党の母体になつてゐるわけです。それから、三十四年の一月が知事選挙でした。

沢田 そうですね。

平川 この年九州開発促進法が通つていますよ。

苦しかった三十四年

沢田 三十四年は、県にとつては非常に多事多難な年でした。

そのうちで一番印象深いのは、赤字を解消するために、何とか積極的に手を打たねばならないというわけで、やはり高令者の高給をとつておられる方々が多いので、これが人件費の増加という面で県財政を圧迫しているということに思いをいたして、二百名の行政整理をやつたわけです。

とにかく三十四年は県政にとつて苦しかった年ですね。三十五年は三十四年にくらべて、一転して明るい年になつてきたと思ひます。

「赤字解消」と

国体の成功と……

沢田 三十五年で赤字解消、再建完了ということになります。当初七カ年計画の再建期間を五カ年間に短縮して、三十五年で終りました。

小山 大きな問題としては国体をやつて、大成功をおさめていますよ。それから、九州横断道路を道路公団の手で着工しています。市房ダムと県営市房発電所が完成したのもこの年ですね。

又、阿蘇に国立の種畜牧場ができた

り、熊本空港ができています。こうして国体の成功、赤字解消ということを中心として、三十五年からいよいよ

「県計画」の策定なる！

天草架橋も着工する

沢田 それから、三十六年の大きな問題としては、「県計画」の策定を終つたということですね。これは三十六年から四十五年までの十カ年計画ですが……

それから、富岡にあつた水産試験場を本渡に移して充実し、三角にはのり研究所をつくりました。又、山の方では阿蘇一帯の大規模草地改良事業、いわゆる牧野改良も始めていますし、五家荘の林業公社も発足しています。

クローズアップされた

「有明」八代「臨海工業地帯

平川 長洲の臨海工業地帯の問題がでてきたのも三十六年でしょう。

沢田 そうですね。三十六年には長洲港の浚せつを産業関連事業として国が採択して、一部着工したということですね。

さらに八代臨海工業地帯造成も、外港の改修など本格的に進められています。又、玉名平野の総合開発事業も着工しています。

それから、いよいよ今年になりますと、低開発地域工業開発促進法の適用をうけることになりましたね。

河津 「有明地区」と「熊本地区」の二地区ですね。

小山 そうです。

よ明るい建設がどんどん進められてきたということがいえると思ひますね。

沢田 それから大きな問題は、天草架橋の着工ということですね。

さらに、道路の整備促進と申しますか、今年になつて、多くの路線が一級国道や二級国道に編入されたということは嬉しいことです。

又、多年継続事業でやつてきた天草下島の環状道路の開通、これも天草にとつては非常に明るいニュースですね。

それから不知火海の締切大干拓の直轄調査、これもまだ調査の段階ですが、熊本県の将来にとつては、非常に大きな意義のある問題だと思ひます。まあ、ざつとこんなところですが、そのほか何か……

「有明臨海工業」への期待

平川 地方自治の十五年を前期、中期、後期に分けてみると、前期は終戦処理的な、非常に民主勢力の強い時期で、法律にしても、日本の実情にあわなない、いきすぎの点があり、その後しばらくは是正の時期があり、更に後半期になつて、非常にスピーディに色々な明るい建設的な事業が進んできたということがいえると思ひますね。そして全体を通じてなんと

の造成でしようね。

それから、低開発地域工業開発地区に指定された有明、熊本地区の構想がどううまれてくるかということですね。

「県計画」の三本柱

沢田 そうですね。それから、今日の問題としては、私はこういうふうにわけてつています。

一つは「農業の近代化」ということ……構造改善事業が新しく展開されようとしています。

それから、農業だけではどうしても県民所得が上がりませんから、いまお話があつたように、有明或いは熊本地区、八代地区、これらを合わせて、「県の工業化の促進」そのために道路等を整備しなければならぬわけですが、いずれにしても県の産業構造を工業化していくということ。

それから、高校急増対策をはじめとする「人づくり」と、これらがとりもなおさず「県計画」の三つの柱になつていますが、やはりそのねらいはまちがつかつてはいないと思ひます。

まあこうしてふりかえつてみますと、この十五年間というものは、県民の皆さんの絶大な協力で、熊本県もよく発展してきたということがいえると思ひます。

今後は、この「県計画」にそつて、皆さんと共に熊本県の発展のために一層の努力を続けたいと思ひます。ではどうも、長い時間有難うございました。

(文責・広報課)